

はしがき

本書は『東京大学総合研究博物館動物部門所蔵 魚類標本リスト(3)』(2024)に次ぐ第4号の標本資料報告である。2021年5月から本学総合研究博物館特任助教(当時)の小枝圭太を中心とし研究事業協力者や外部研究者、ボランティアの協力を得た本学総合研究博物館動物部門所蔵の魚類標本(ZUMT: The Department of Zoology, The University Museum, The University of Tokyo)コレクションの整理作業が始まり、2023年1月から2024年3月までは第二編者主導のもとで実施され、2024年4月から現在までは本学総合研究博物館研究事業協力員の藍澤正宏の主導のもとで継続されている。2023年以降は本学総合研究博物館ウェブサイトでの標本データの公開作業も進められており、現在までに第1~3号の標本資料報告のPDFファイルと未整理のものを含めたZUMT全標本リストが公開されている。

この標本資料報告においては、17報の個別のタクソンの標本目録、および1報のタイプ標本目録を掲載することが出来た。これらの報告はいずれも単なる目録にとどまらず、各タクソンの分類学、生物地理学、および博物学的知見を盛り込んだディスカッションを含む意欲的な内容となっており、各タクソンの研究における基礎資料となることも期待される。

これまでの活動により、ZUMTコレクションの活発な利用へと繋がり、新たな学術的発見へと繋がっていくことを切に願う。なお、標本整理作業は現在も引き続きすすめられており、今号に掲載できなかった分類群の標本目録については次号以降にて掲載する予定である。

本プロジェクトの推進および本目録の出版に際しては多くの方々のご協力を得た。東京大学総合研究博物館の研究部教員、事務職員の方々には様々な御支援をいただいた。本プロジェクトは、平成11-令和6年度の本学総合研究博物館プロジェクト研究経費、公開利用経費、および第二編者に対するJSPS科研費(24K16204)による援助を受けて実施された。本学総合研究博物館研究事業協力員の藍澤正宏氏、坂本一男氏、および望月健太郎氏、鹿児島大学総合研究博物館の本村浩之氏、松本達也氏、幸大二郎氏、出羽優風氏、および畑瑛之郎氏、琉球大学の小枝圭太氏、沖縄科学技術大学院大学の畑晴陵氏、新江ノ島水族館の園山貴之氏、京都大学総合博物館の松沼瑞樹氏、水産研究・教育機構の岡本誠氏、北海道大学の樋口淳也氏と河合俊郎氏、東京大学の尾山大知氏、滋賀県立琵琶湖博物館の川瀬成吾氏、および早稲田大学の青沼龍太郎氏には標本の観察や同定、管理・維持作業に加え原稿の執筆をいただいた。ボランティアの小林健二氏および高橋あゆみ氏、東京海洋大学の江藤暁氏、金子友哉氏および藤原好生氏、東京大学の深谷真央氏、田園調布雙葉中学校・高等学校の刑部南月子氏、および麻布学園生物部の馬淵俊輔氏、大井慈陽氏、関航志氏、および坂井應介氏にはZUMT標本の管理・維持作業を手伝っていただいた。これらの方々に、この場を借りて、厚くお礼申し上げたい。最後に、ZUMT標本が今日に至るまでに多大な貢献をいただいた故富永義昭氏に深い感謝の意を示したい。

2025年2月8日

藤原恭司^{1,2)}、和田英敏^{2,3)}、上島 励^{4,5)}

1) 国立科学博物館; 2) 東京大学総合研究博物館 研究事業協力員; 3) 神奈川県立生命の星・地球博物館; 4) 東京大学総合研究博物館 動物部門主任; 5) 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻准教授